

富士通アメリカンフットボール部 富士通フロンティアーズ

アルリワン・アディヤミ選手

(背番号40、ポジションDB・ディフェンシブバック)

◆ ナイジェリア出身

2 014年度「Xリーグ」優勝、第68回ライスボウルで学生王者に勝利・日本一に輝いた、「富士通フロンティアーズ」で活躍中のアルリワン・アディヤミ選手にお話を伺いました。

アディヤミ選手はナイジェリア出身で、10歳の時に両親と米・ロサンゼルスに移住し、サンディエゴ大学を卒業後、2013年に来日。選手としてプレーするかたわら、チームのプレーの分析やデータの打ち込みなどコーチとしての業務、そして、社内放送の英訳など総務部の業務も行っているそうです。

アメフトをはじめたきっかけと、来日したいきっかけは？

友人たちの影響もあって、14歳のときに始めました。アメリカではアメフトの人气がとにかく高く、“Super Bowl”^{スーパーボウル}(※1)はアメリカ最大のスポーツイベントであり、「国民的行事」です。アメフトの魅力は一言でいえば「戦略」です。フィールド内での動きや位置を考えることが大事だし面白いです。

アメリカでは、大学卒業後は普通に就職するか、プロとしてアメフトをす

るかのどちらかになりますが、仕事とアメフトが両立できて、さらにアジアに行けるチャンスはすばらしいと思って、富士通に入社し、フロンティアーズに入団しました。チームメイトは同年代が多くて気が合うし、だいたい皆寮生活なので、大家族みたいな感じですね。休日は代々木公園のフェスティバルに行ったり、一緒に過ごしています。

「富士通スタジアム川崎」(※2)ではプレーされましたか？

はい。新しいのでフィールドが綺麗で柔らかく、膝や腰にも優しいです。普段の練習は川崎グランド(高津区)で行っていますが、試合は「富士通スタジアム川崎」がメインで開催されています。スタンドが近く、お客さんの声援もよく聞こえて盛り上がりますね。

日本の印象はいかがですか？

日本人は、人に対してだけではなく、自然や物も尊重・尊敬するところが素晴らしいと思います。また、僕のことを本当にあたたかく受け入れてくれます。ファンの方も、選手としてだけではなく、僕の体調や日常生活のことなども気にかけてくれます。



©EMアイプランニング

できれば今後、沖縄と広島に行きたいです。沖縄はとても美しいと聞いているから。広島には深い歴史がつまっているから。未来を考えたり理解するためには、過去を見つめて理解しなければいけないと思うので、必ず行きたいと思っています。

今後のチームの目標は？

チームが昨日より少しでも良くなるのが毎日の目標です。ゴールは、シーズンの最後に1番になること。そのために、最終的なゴールを見るだけでなく、今日のこと、明日のことを見て、確実に上達し続けることで、シーズンの最後にいい結果が得られると思っています。

豪雨の中での厳しい練習後にもかかわらず、あたたかく迎えていただきました。

アディヤミ選手のやさしい表情と笑顔の奥にある、アメフトやチームメイトに対する熱い思いが伝わってきました。今シーズンでの活躍が楽しみです。

(取材・文：編集ボランティア 大山知香)

※1 アメリカのプロアメリカンフットボールリーグ・NFLの優勝決定戦

※2 富士通スタジアム川崎：旧川崎球場(川崎市)。2015年4月1日、地上4階建て、観覧席約3,800席を備えたアメリカンフットボールの拠点としてリニューアル・オープン。富士通がネーミングライツを取得。

富士通フロンティアーズHP：<http://sports.jp.fujitsu.com/frontiers/>